



This is our **Communication on Progress**  
in implementing the principles of the  
**United Nations Global Compact**.

We welcome feedback on its contents.



# ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社

## Communication on Progress 2015年度

対象期間：2014年7月～2015年6月迄

## トップステイトメント

●ユー・エム・シー・グループは、電子部品実装のEMS企業(EMS: Electronics Manufacturing Service)で、民生用・産業用・車載用電子機器の基板設計、開発、製造、販売をグローバルに展開致しております。

－ 連結売上高 : 2014年度 売上高 1,135億円、営業利益 20億円

－ 全従業員数 : 11,000名 (2014年12月末時点)

当社は、2010年 7月に国連グローバル・コンパクト(以下GC)に加盟し、GC4分野10原則とミレニアム開発目標の実現を目指して企業活動を進めております。

### ●これまでの取り組み

・当社は、GC4分野の一つである環境分野への取り組みとして、2002年に日本・中国にてISO14001を取得し、2008年にはベトナムでも同国際認証規格を取得。化学物質の削減、有鉛半田の削減等、世界水準の環境保全に取り組んでいます。2014年2月にはタイでもISO14001(環境マネジメントシステム)を取得、更に全国拠点を挙げて省エネルギー、ごみの分別/リサイクル運動に取り組んでおります。

・また、労働分野への取り組みとして、中国では2002年 OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)を取得。2012年 12月 ISO26000ラウンドに基づき、CSR(corporate social responsibility)体制を構築する上で、2012年 10月 ボランティアチームを発足、定期的に活動を続けております。

雇用や環境において、調和のとれた地域発展に貢献すべく活動しております。

### ●来年度の活動

・環境分野では、資源の効率的利用/再利用、省エネルギー運動、廃棄物リサイクルを促進します。

・労働並びに人権分野では、生産性向上による労働時間短縮、職場環境の維持・改善を促進。従前からの定期的な近隣道路清掃活動を行う事で、コミュニティとのより良い関係を構築、維持継続致します。

来年度も、グローバル・コンパクトの理念に基づく活動を通じて、社会貢献に努めて参ります。

## 会社概要

日本	<p>社名 : ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社</p> <p>設立 : 1968年1月      資本金: 13億3,400万円      [決算期: 3月]</p> <p>従業員 : 1,200名(国内)      代表取締役社長: 内山 茂樹</p> <p>所在地 : 埼玉県上尾市瓦葺721</p> <p>拠点 : 本社、本社工場、上尾工場、宮崎工場、物流センター、Spiral Up営業所、VAS営業所、VCM営業所、UMCジャストインスタッフ(株)、(株)グリーン・システム</p>
中国	<p>社名 : UMC Electronics Hong Kong Limited [ 三和盛香港高科技有限公司 ]</p> <p>設立 : 2000年6月      資本金: 38.0百万USD [決算期: 3月]</p> <p>従業員 : 6,146名      董事長: 柏木亮二</p> <p>所在地 : 香港新界葵昌路56號貿易之都2樓1C室</p> <p>拠点 : 三和盛科技電子(深圳)有限公司、同 坂田分公司 三和盛電子科技(東莞)有限公司、三和盛電子製品(東莞)有限公司</p>
ベトナム	<p>社名 : UMC Electronics Vietnam Limited</p> <p>設立 : 2006年11月      資本金: 19.8百万USD [決算期: 3月]</p> <p>従業員 : 2,500名      社長: 高田 昭人</p> <p>所在地 : Tan Truong Industrial Zone, Cam Giang Dist, Hai Duong Province, VIETNAM</p>
タイ	<p>社名 : UMC Electronics (Thailand) Limited</p> <p>設立 : 2011年1月      資本金: 780.0百万THB [決算期: 3月]</p> <p>従業員 : 310名      社長: 阿部 正志</p> <p>所在地 : TFD Industrial Estate , 1/23 Moo 5 Tambol, Tha Sa-an Amphar Bang Pakong Chachoengsao 24130, THAILAND</p>
ドイツ	<p>社名 : UMC Electronics Europe GmbH</p> <p>設立 : 2013年9月      資本金: 2.0百万ユーロ [決算期: 3月]</p> <p>従業員 : 2名      社長: 星野 仁志</p> <p>所在地 : Laim Landsberger Strasse 302 80687 München, Germany</p>

(従業員数は、2014年3月末時点)



## 1.人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <p>■障害者雇用の計画的な採用活動を行い、障害者の雇用機会を増やしていく。</p> <p>■能力主義での人材登用 (性別・国籍・出身地域・民族を問わない。)</p> <p>■人材教育の充実により、更なる現地スタッフ登用の機会を増やす。</p>	<p>○ 障害者雇用の採用計画を策定、関係機関と連携し仕事の切出し、求人を行った。</p> <p>○ 従来より公正な人材登用を実施、女性の管理職登用が増大。</p> <p>○ 各拠点で現地スタッフ採用活動実施、タイでは現地スタッフ倍増。</p>	<p>■障害者雇用拡大促進すべく、各種関係機関・特別支援学校と連携し、実習生受入、職場見学の機会を拡大する。</p> <p>■能力主義での人材登用を継続、徹底する。 (性別・国籍・出身地域・民族での差別撤廃を徹底)</p> <p>■現地スタッフ登用の拡大、更なる人材教育を実施、より豊かな生活と働き甲斐と公正な機会を提供する。</p>

## 2.労働分野に関する活動報告(1/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <p>■残業時間管理及び健康管理の徹底を図り、労働生産性の向上と従業員の健康維持増進を図る。</p> <p>■5Sパトロール、意見箱などを通じ、職場環境改善提案活動の全社展開を推進し、職場環境満足度向上を図る。</p> <p>■安全衛生体制の強化と、安全衛生計画を充実させ、更なる安全衛生向上を図る。</p> <p>■ハラスメント防止規程に関しリスクアセスメントを実施し、リスクの除去低減を行う事で、更なる快適な職場環境構築を図る。</p>	<p>○ 残業時間の監視、36協定の周知及び遵守を徹底して行った。長時間労働者とは上長面談、産業医面談を実施。</p> <p>○ 従業員の意見を反映し職場環境(例:暑さ/寒さ対策)や食事の改善に努める。</p> <p>○ 安全衛生委員会の定期開催、計画を充実させ周知/安全衛生向上に努めた。</p> <p>○ ハラスメント防止規程の周知徹底に努め、リスクアセスメントを実施。</p>	<p>■残業時間を監視、長時間労働の防止、注意喚起を継続。定時退社日を推進。</p> <p>■5Sパトロール、意見箱などを通じ、職場環境改善提案活動の全社展開を推進し、職場環境満足度向上努力を継続。</p> <p>■自然災害対策の拡大等、安全衛生体制の強化と、安全衛生計画を充実させ、更なる安全衛生向上を図る。</p> <p>■リスクアセスメントを適宜実施し、リスクの除去低減を行う事で、更なる快適な職場環境構築を徹底する。</p>

## 2.労働分野に関する活動報告(2/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【中国】</p> <p>■労働関連の法令変更への対応を図る。</p> <p>■新労働法遵守（2008年1月から実施）を図る。</p> <p>■休日残業を中心とする労働時間の短縮化を図る。</p>	<p>○ 最低賃金変更（2015年3月～）に対応。</p> <p>○ 組織の規律遵守徹底に努める。</p> <p>○ SAPシステムを導入し、部材調達から工数計画の精緻化を図り、休日の生産活動を限定するよう努める。</p>	<p>■労働関連の法令遵守を維持継続する。</p> <p>■規律遵守徹底を維持継続する。</p> <p>■グループ全体での情報共有化を図り、全体の作業効率を上げる事で、労働時間の短縮を図る。</p>



## 2.労働分野に関する活動報告(3/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【ベトナム】</p> <p>■新労働法に対応したルールの変更への対応</p> <p>■職場の安全衛生の向上を図る。</p> <p>■残業時間の短縮化を図る。</p> <p>■従業員の職場環境満足度向上を図る。</p>	<p>○ 労働法に準じた社内制度の作成。従業員への周知徹底</p> <p>○ 労働安全チームによる定期巡回 労働安全衛生教育 ⇒従業員の労働安全意識向上</p> <p>○ 残業データの定期的な配布により無駄な残業をなくす。計画残業を行う。ノー残業ディの実施</p> <p>○ ・社長直結意見箱の設置・労働組合との定例会議にて情報の吸い上げ ⇒職場環境、食事、福利厚生の改善</p>	<p>■労働関連の法令遵守を維持継続する。</p> <p>■会社全体の安全衛生の意識向上のための啓蒙・活動を継続する。</p> <p>■引き続き情報共有化を図り、作業効率を上げ、労働時間の短縮を図る。</p> <p>■従業員とのコミュニケーションを密にして良好な労使関係を引き続き維持する。</p>

### 3.環境分野に関する活動報告 (1/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <p>■節電によるCO2削減活動の推進を図る。</p> <p>■危険物保管庫の貯蔵量管理徹底と 伴に、有事の際の環境影響を最小限 に留める訓練を行う。</p> <p>■廃棄物リサイクル管理を継続強化 する。リサイクルアイテムを増やし、 ゼロエミッションに近付ける。</p> <p>■機密文書類破棄の廃棄削減</p> <p>■地域美化運動の推進</p>	<p>○ 各拠点にデマンドコント ローラーを設置し、節 電意識の向上に努める。</p> <p>○ 隔月で開催するEM(環 境管理)委員会におい て、危険物管理を報告 事項とし、危険物管理 の意識向上に努める。</p> <p>○ 紙とダンボール等の分 別管理に努める。</p> <p>○ 溶解処理による再資源 化</p> <p>○ 全社員で、事業所周辺 清掃に努める。</p>	<p>■今後も節電によるCO2削減活動を継 続する。</p> <p>■引続き危険物保管庫の貯蔵量 管理徹底と訓練実施、 及び有事の際の対応手順を定め 環境影響を最小限に留める。</p> <p>■今後も廃棄物リサイクル管理を継続 強化する。</p> <p>■今後も定期的に実施する。</p> <p>■今後も定期的に実施する。</p>



### 3.環境に関する活動報告(2/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【中国】</p> <p>■CO2削減活動の推進を図る。</p> <p>■節電省エネルギー</p> <p>1)AIR機に追加交換機、重油を使用せず、熱を利用してシャワー用のお湯を作る。</p> <p>2)生産の状況に応じて、空圧機(コンプレッサー)とN2発生機の稼動をコントロールする。</p> <p>3)冷媒で夜間に冷水を作って、昼に供給する。</p> <p>4)生活区の照明をLED灯に切り替える。</p>	<p>○</p> <p>2014年度 排気量 1039.7噸/売上USD1M (前年比▲3%削減)</p> <p>○</p> <p>節約費用:RMB12万元 /月(東莞工場)</p> <p>○</p> <p>節約可能費用: RMB4 万元/月</p> <p>○</p> <p>節約可能費用:RMB6.6 万元/月</p> <p>○</p> <p>電気代節約費用: RMB2.5万元/年</p>	<p>■活動を継続強化する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p> <p>■来年度も継続実施する。</p>

### 3.環境に関する活動報告(3/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
5)リフローの共用化。	○ 電気代節約費用: RMB2.4万元/月	■来年度も継続実施する。
6)塗装乾燥機の共用化	○ 電気代節約費用: RMB4.8万元/月	■来年度も継続して実施する。
7)生産現場と梱包エリアーの間に自動扉を設置して冷気の流出を防止。	○ 電気代節約費用: RMB8.8万元/年	■来年度も継続して実施する。
8)電子デジタルICT散熱作業削除し、エアコンーを節約。	○ 電気代節約費用: RMB 1万元/月	■来年度も継続して実施する。
9)窒素管の分圧輸送	○ 電気代節約費用 RMB 3万元/月	■来年度も継続して実施する。

### 3.環境に関する活動報告(4/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>■環境改善</b> 1)各フロアーの危険品倉庫に目洗い器械を設置する。	○ 危険品を目に入れる時、緊急対応できる。	<b>■来年度も継続して実施する。</b>
2)コーティング工程において、コーティング装置を導入し、自動化になり、作業者の作業環境を改善した。	○ 作業者の健康と安全の確保が出来た。	<b>■来年度も継続して実施する。</b>
3)化学品倉庫と現場の化学品倉庫にて二次漏れ防止装置を増加	○ 環境汚染防止。	<b>■来年度も継続して実施する。</b>
4)コンプレッサーの廃水フィルタを設置	○ 環境汚染防止。	<b>■来年度も継続して実施する。</b>



### 3.環境に関する活動報告(5/5)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>【ベトナム】</b> <b>■エネルギー資源を節約する</b> ・生産数量に対する電気使用量 と水使用量を前年比10% 削減する  <b>■環境保護のため、化学物質、            廃棄物の管理をする</b> ・生産数量に対して化学物質使 用量・廃棄物を昨年度比10% 削減する。  <b>■法律に従い、排水、排気、職場環境の整            備を行う</b>  <b>■顧客の要求、法律に従い、適切な化学物            質を使用する</b>	<p>○</p> 2014年度(Apr-Mar 15) 電気使用量 0.28KWh/ pcs × 2014年度(Apr-Mar 15) 水使用量 0.0023m <sup>3</sup> /pcs  <p>○</p> 2014年度(Apr-Mar 15) 化学物質使用量 0.0022Lit/pcs ゴミ廃棄量 0.0035kg/pcs  <p>○</p> 法律を100%遵守  <p>○</p> 法律を100%遵守	<b>■活動</b> 2015年度(Apr-Mar 16) 目標 電気使用量 ⇒3%/月  水使用量⇒3%/月  <b>■活動</b> 2015年度(Apr-Mar 15) 目標 化学物質使用量 ⇒3%/月 ゴミ廃棄量⇒3%/月  <b>■継続して活動 法律を遵守する</b>  <b>■継続して活動 法律を遵守する</b>

#### 4.腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>【全社】</b> <b>■反社会的勢力対応規程の周知</b>  <b>■取引先との癒着のないクリーンな関係の徹底</b>	<p>○</p> <p>反社会勢力との関係遮断に関する規定を制定し、社内周知のための教育を行った。</p>	<b>■引き続き、入社時教育にて、反社会的勢力規程の周知を行う。</b>  <b>■上記と同じく、入社時教育にて金品の授受に係わるモラル、及び違反者発生時の断固たる処置について教育を行う。</b>
このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。		
自社のWEBサイトに掲載する。		

2015年7月3日

ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺721

代表取締役社長(CEO)

